



子どもたちと駒おどりを続けていく



とう しょう けい こ
東松 慶子さん

幌別町在住。55歳。
幌別鉄南地区連合町内会事務局次長。趣味の合唱は40年以上続けており、現在は市内のコーラスサークルで活躍している。合唱で培った音楽の知識などを生かし、子どもたちに『幌別駒おどり』の演奏を指導している。

私は、『幌別駒おどり保存会』へ加入し、子どもたちに『幌別駒おどり』の演奏を教えて、10年が経ちました。活動を続けてきた中で、登下校中の子どもがあいさつしてくれたり、お礼の手紙をもらったりするなど、うれしい経験をたくさんさせてもらいました。

『幌別駒おどり』は、昭和38年に誕生した郷土芸能で、笛やすずなど4〜6種類の楽器で奏でる演奏に合わせて、子どもたちが馬にまたがって元気に駆け回る様子を表現する踊りです。平成27年に、幌別東小学校が土曜授業に幌別駒おどりを取り入れ、現在、全校児童が取り組んでくれています。平成29年には、踊りに使う『駒』や陣笠を一新し、駒を担当する子どもからは「駒が軽くなって良かった」と好評です。

私自身が中学生の時に取り組んだ合唱を今でも続けているように、子



▲子どもたちの演奏に合わせて踊りが披露される、幌別東小学校の『幌別駒おどり』

どもの頃の経験は将来の夢や生きがいにつながる人が多いと思います。もしかしたら、現在の郷土芸能の経験が、将来、何らかの形で役立つ子どもがいるかもしれません。子どもたちには、勉強以外にも色々な経験をして、本当に好きになれることを見つけしてほしいと思います。これからも、多くの子どもたちと一緒に、活動を続けていきたいです。

30周年を機に一層登別を応援する



おお っ しん し
大津 信二さん

東京都在住。69歳。
登別市のふるさと会『東京登別げんきかい』立ち上げ時のメンバーであるとともに、5代目会長を務める。会長に就任して5年目を迎え、ふるさと登別の発展を願い、会の活動強化に取り組んでいる。

登別市の皆さま、あけましておめでとうございます。

今年、平成30年は、平成元年に設立した私たち『東京登別げんきかい』にとって、30周年を迎える節目の年です。

思い起こせば、30年前、登別市からの呼び掛けもあり、登別にゆかりのある関東在住の人が集う会を立ち上げようと、有志で発起人会がスタートし、微力ながら、私もその中の一人として参加しました。

あれから30年、歴代の会長や役員、幹事、そしてふるさと登別の関係者の皆さまの絶大なご支援とともに、女性や若手の役員・幹事などの活躍により、今日まで、その名のとおり『げんき』に存続してきました。

今年、登別市へのふるさとツアーなど、30周年記念行事を実施するとともに、登別市のことをよく知らない関東圏の人たちに対する登別

市の魅力のPRなどに、より一層力を注いでいきたいと思えます。

また、私にとっても、今年が古希(70歳)を迎える節目の年です。私のモットー『明るく、楽しく、元氣よく』を全面に打ち出し、30周年を節目に、当会を盛り立て、会のさらなる活性化に取り組みます。

結びに、平成30年をすばらしい一年にしていきましょう。



▲情報交換会で、登別市の最近の情報について真剣に耳を傾ける『東京登別げんきかい』の会員